レジメン登録内容

診療科：**婦人科**　　対象疾患：**卵巣がん**　　申請医師:

コード：**Y-1002**

レジメン名：**dd-TC**　　承 認 日：**2011/04/11**

1コース：　21 日間　　標準コース数：　1　回

Rp	処方	DOSE	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21							
1	点滴静注 - メイン																													
	ファモチジン注射用20mg	1 A/body	↓																											
	ポララミン注 5mg/1mL	1 A/body	↓																											
	デキサート注射液1.65mg/0.5mL●	2 A/body	↓																											
	パロノセトロン点滴静注ﾊﾞｯｸﾞ0.75mg/50ml「ﾀｲﾎｳ	1 袋/body	↓																											
	アロカリス点滴静注235mg/10mL	1 瓶/body	↓																											
	時間：30分																													
2	点滴静注 - メイン																													
	ファモチジン注射用20mg	1 A/body								↓							↓													
	ポララミン注 5mg/1mL	1 A/body								↓							↓													
	デキサート注射液6.6mg/2mL●	1 V/body								↓							↓													
	生理食塩液注 50mL	1 本/body								↓							↓													
	速度：全開で																													
3	点滴静注 - メイン																													
	生理食塩液注 100mL	100 mL/body	↓							↓							↓													
	時間：30分																													
4	点滴静注 - メイン																													
	パクリタキセル注	80 mg/㎡	↓							↓							↓													
	5%ブドウ糖注 250mL ●	250 mL/body	↓							↓							↓													
	時間：1時間																													
	投与時、フィルターを使用してください																													

レジメン登録内容

診療科：**婦人科**　　対象疾患：**卵巣がん**　　申請医師:

コード：**Y-1002**

レジメン名：**dd-TC**　　承 認 日：**2011/04/11**

1コース：　21 日間　　標準コース数：　1　回

Rp	処方	DOSE	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21							
5	点滴静注 - メイン																													
	カルボプラチン点滴静液	6 AUC/body	↓																											
	5%ブドウ糖注 250mL ●	250 mL/body	↓																											
	時間：1時間																													
6	点滴静注 - メイン																													
	生理食塩液注 50mL	50 mL/body	↓							↓							↓													
	速度：全開で																													

その他：
CBDCA AUC=6
2016/7/25 TCweekly(CBDCA一括)→dd-TCにﾚｼﾞﾒﾝ名称変更
2017/6/23　イメンド追加、day1デキサート減量、day8,15グラニセトロン削除、パクリタキセル60→80mg/㎡、カルボプラチンAUC5→AUC6に変更
2020/08/20 イメンド→アプレピタントに変更
2022/4/25　アロキシ→パロノセトロンに変更
2023/7/20　アプレピタント→アロカリスへ変更

重篤な副作用の主な発現状況(Grade3以上)
好中球減少92%、貧血69%、血小板減少44%、悪心10%、発熱性好中球減少症9%
＊臨床試験データに基づく